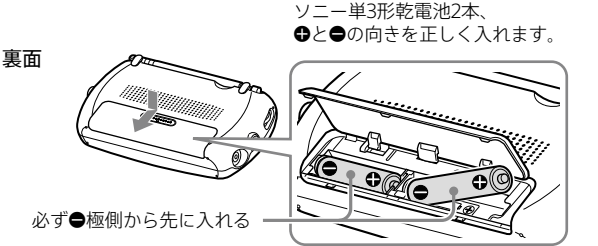




## 乾電池を入れる



### 乾電池の持続時間 (JEITA\*)

(単位：約時間)

	FM	AM	音声入力
	スピーカー 使用時	スピーカー 使用時	スピーカー 使用時
ソニー単3形 (LR6) アルカリ乾電池	47	52	80

\* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

### 乾電池の交換時期

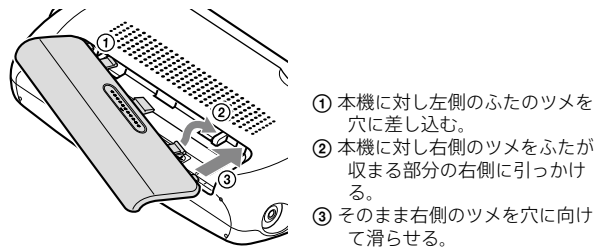
乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだり、同調インジケータが暗くなったりします。その場合は、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

#### ご注意

乾電池交換の際は、電池に表示されている使用期限を確認してください。買い置きしたまま長時間放置した乾電池は、消耗して使えない場合があります。

### 電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっていきます。はずれた場合は、下図の番号に従って取り付けてください。



- ① 本機に対し左側のふたのツメを穴に差し込む。
- ② 本機に対し右側のツメをふたが収まる部分の右側に引っかける。
- ③ そのまま右側のツメを穴に向けて滑らせる。

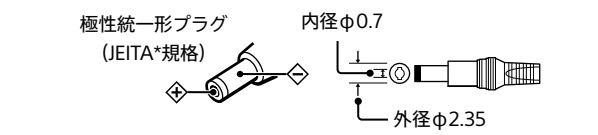
### 市販のACアダプターをつないで外部電源で使うには

この製品は、市販のACアダプターをDC IN 3V (☉☼☼) 端子とコンセントにつないで、外部電源で使用することができます。乾電池が入っていても、自動的に外部電源に切り換わります。

### 使用できる市販のACアダプター

必ず以下の仕様を満たしたACアダプターをお使いください。仕様を満たさないACアダプターを使用すると本体が破損する場合があります。

- 出力電圧 3V
- 出力電流 500 mA以上
- プラグ極性 外側の金属部が(−) / 中心電極が(+)
- プラグ形状 外径φ2.35 / 内径φ0.7



- トランス式  
トランス式以外のものを使用するとノイズが入る場合があります。

\* JEITA (電子情報技術産業協会)規格。

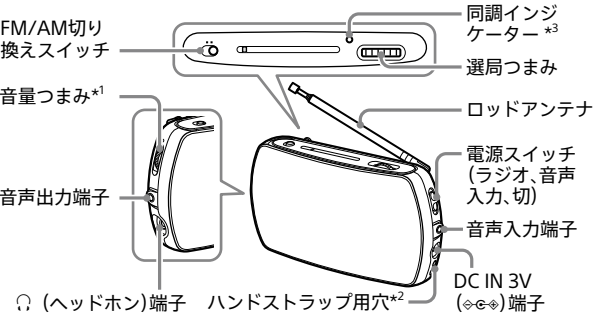
#### ご注意

- 電池の液もれを防ぐために、外部電源でお使いの場合は、電池を取り出すことをおすすめします。
- 長い間使わないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。このときはDC IN 3V (☉☼☼) 端子からプラグも抜いてください。
- 乾電池で使うときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いたあと、本機のDC IN 3V (☉☼☼) 端子からプラグを抜いてください。DC IN 3V (☉☼☼) 端子に外部電源のプラグがつかっていると乾電池で動作しません。

## ラジオを聞く

スピーカーまたは別売りのヘッドホンで聞くことができます。

**本機は、ワイドFM (FM補完放送)に対応しています。**  
ワイドFM放送とは、AM (中波)放送局の放送エリアにおいて、難受信対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数(76MHz ~ 90MHz)に加えて、新たに割り当てられた周波数(90.1MHz ~ 95MHz)を用いてAM番組を放送することです。



\*1 音量つまみ近くの音量を上げる側に凸点が付いています。操作の目印としてお使いください。

\*2 お手持ちのハンドストラップなどを取り付けることができます。

\*3 電波の強さにより受信していてもランプが点灯しなかったり、外部の影響により受信していなくてもランプが点灯することがあります。

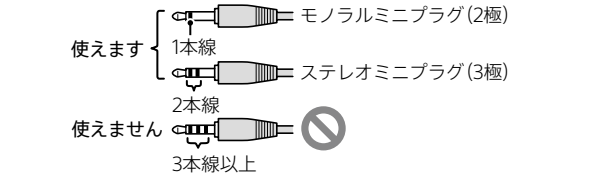
- 1 電源スイッチを「ラジオ」にして電源を入れる。
- 2 FM/AM切り換えスイッチで、FMまたはAMを選ぶ。
- 3 選局つまみを回して、聞きたい放送局の周波数を選ぶ。
- 4 音量つまみで音量を調節する。

### 電源を切るときは

電源スイッチを「切」にします。

### 別売りのヘッドホンで聞くには

ヘッドホンを(ヘッドホン)端子につなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。



#### ご注意

- ラジオを聞く時は、音声入力端子から接続コードを抜いてお使いください。音声入力端子に機器が接続されたままだとラジオにノイズが入る場合があります。
- ノイズキャンセリング機能付きウォークマン®に付属されているヘッドホンは使用できません。

### 受信状態を良くするには

#### (FM放送、AM放送共通)

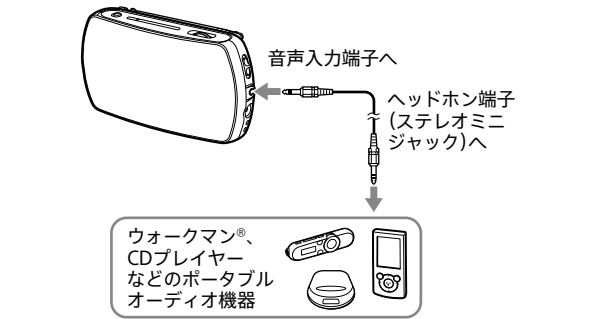
受信環境によって電波状況が変わります。受信をよくするためには、次のことを行ってください：

- 受信しやすい場所で使用  
窓際など、電波が届きやすい場所でお使いください。
- FM放送の場合のみ、ロッドアンテナを立てて、伸ばす  
アンテナを立て(①)、最大限に伸ばしてください(②)。  
**不適切な方向へ動かそうとすると、アンテナを破損する恐れがあります。おもて面の「ロッドアンテナの取り扱いについて」をご覧ください。**
- ラジオ本体の向きを変える  
本体の向きによって、受信状態が変わります。本体を最も受信状態の良い方向へ向けてください。

## 他の機器の音楽などを聞く

付属の接続コードでウォークマン®などを本機に接続することで、本機のスピーカーから音楽などを楽しむことができます。

### 1 付属の接続コードで聞きたい機器と接続する。



- 2 電源スイッチを「音声入力」にして、電源を入れる。
- 3 接続した機器の電源を入れ、音楽などを再生し、音量を調節する。
- 4 本機の音量つまみで音量を調節する。  
音が小さいときは、接続した機器の音量つまみで調節してください。

### 電源を切るときは

聞き終わったら必ず本機の電源スイッチを「切」にしてください。「音声入力」のままだと接続した機器の再生が終了し、音が出ていない場合でも本機の電源は切れません。

#### ヒント

より良い音を楽しむためには、接続した機器の音量を上げたのち、本機の音量を調節してください。

#### ご注意

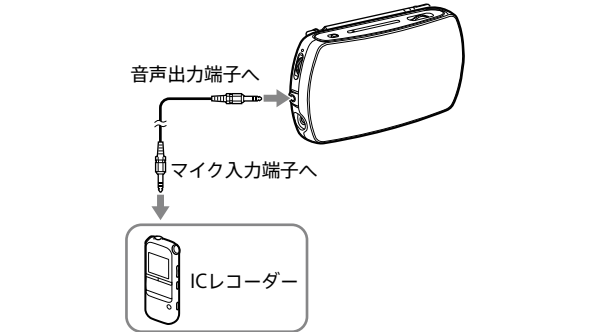
- ウォークマン®などのバスブースト機能は解除してください。ひずみの原因になることがあります。
- 接続した機器の出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側スピーカーから音が出ない場合があります。
- 接続した機器の出力端子がLINE OUT端子などの固定出力の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がひずんだ場合は、ヘッドホン端子に接続してください。
- 接続した機器の音量を上げすぎると、音がひずむ場合があります。

## ラジオの音声を録音する

ウォークマン®\*やICレコーダーなどにラジオの音声を録音することができます。

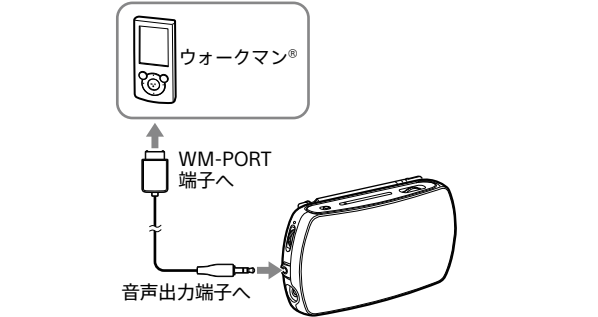
\* ダイレクトエンコーディング機能搭載ウォークマン®。

### 1 付属の接続コードでICレコーダーなどの録音用機器と接続する。



#### ご注意

- ソニー製のICレコーダーなどを使う場合は、外部入力選択でAUDIO INを選んでください。MIC INを選ぶと、録音された音がひずみます。
- テープレコーダーなどのマイク入力端子を使った場合は、録音された音がひずむため、外部入力端子をお使いください。  
ウォークマン®との接続は別売りの録音用ケーブル(WMC-NWR1)をお使いください。



- 2 電源スイッチを「ラジオ」にし、録音したい放送局を受信する。
- 3 録音用機器で録音を開始する。  
録音方法や接続コードの操作については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

#### ご注意

- 録音中は本機と録音機はできるだけ離してください。  
録音された音にノイズが入る場合があります。
- 録音中は本機、接続コード、録音機に触らないでください。  
録音された音にノイズが入る場合があります。
- 音声出力端子からは、本機で受信しているラジオ音声のみ出力されます。音声入力端子に接続されている機器の音声は出力されません。
- 2秒以上無音が続くと、録音する機器により自動で録音が一時的に停止し、音の検出待ちの状態となります。再び音を検知すると、新しい曲として録音が始まる場合があります。
- 音声出力端子から出力される音声の大きさは固定です。  
本体の音量つまみで調節できません。

### 4 録音が終わったら、接続した機器の録音を停止する。

## ラジオの音声を他の機器で聞く

付属の接続コードなどで本機の音声出力と他の機器のAUDIO IN、LINE INを接続すると、接続した機器で本機の受信したラジオ放送を聞くことができます。本機のスピーカーからも音声は出力されます。音量つまみで調節してください。

#### ご注意

接続した機器からのノイズの影響でラジオ放送が受信できなかったり、感度が低下する場合があります。